

## ほめるのが一番

三郷の小さなつどい 2/9 (土) 13:30～

岩野木集会場 参加者 27名

自己紹介の後、アカシア会の高杉さんより「クリニックふれあい早稲田」を中心に、認知症の介護施設を開設して、医療と介護の両面から認知症の人を支えているアカシア会の活動について話してもらいました。

Yさんのご主人は、麻雀が好きだから麻雀をやっているデイに行かせたところ、メンバーが決まっていた替わってくれなかったと言って、もう行かなくなってしまったと報告があった。

Sさんは、妻が一度はデイに行ったのに、「話し相手がいなくてつまらないから行かない」と言っていると話された。それに対して、デイのスタッフが「ご本人の勤めていた会社のことを褒めてくれたら、気分がよくて行くようになった」とか、「絵の先生になってほしいと頼んだら、喜んで行くようになった」という例も出されました。その人に合ったデイを探すことが大切で、家族も一緒に過ごせる一日体験などを利用してみてはどうかと提案がありました。ご本人が感じた思いをデイのスタッフに伝え、改善してもらえれば、それに越したことはないのですが。家族は認知症を疑い、病院に連れて行っても、何でもないと言われる。しかし、どうも心配だという方が何人もおられました。

---

大場先生からは、診断には画像、長谷川式のテスト、そして生活上困っていることはないかなどを聞くことがあるが、大病院だとデータだけで判断してしまうことが多い。初期では画像に出ないし、長谷川式も良い点をとったりする。身近にかかりつけの医師がいれば、相談されるのがよいと思うとアドバイスがありました。